

新たな事業領域への挑戦

持続可能な不動産事業への取り組みとして私募不動産ファンド・リートの組成を推進するとともに、既存事業の枠にとらわれず、M&Aや新規事業開発を積極的に進め、新たな事業領域に挑戦します。

不動産ファンド・リート

当社の不動産事業をより環境変化に強い持続可能な事業へ変革させるため、不動産ファンド・リートの仕組みを活用し、既存物件売却と新規物件取得により当社グループの開発事業の規模を継続的に拡大する「資産回転型ビジネス」への参入検討を進めます。

M&A

2025年3月に、グループ会社の北海道ジェイ・アール都市開発(株)を通じて、すすきののアパートメントホテル運営会社(合同会社BASE JAPAN)をM&Aで取得しました。

これにより、無人宿泊施設「JRモバイルイン」との相乗効果による同社の不動産事業拡大や、インバウンド取り込み強化を図ります。

今後も当社グループの既存事業領域(不動産、ホテル、物販・飲食、施設管理・資源リサイクル等)の強化や周辺事業領域(食品製造・加工・卸売等)を中心に、M&Aによる事業拡大を進めます。



アパートメントホテル
「THE BASE SAPPORO SUSUKINO」

新規事業の取り組み

Kitacaのエゾモモンガ

ICカードのキャラクター「Kitacaのエゾモモンガ」を活用したキャラクタービジネス。「Kitacaのエゾモモンガ」の認知度拡大に向けた取り組みやメーカー等へのオリジナルグッズの制作提案を行っています。

また作者であるイラストレーター・絵本作家のSORAさんがグッズの企画段階から一緒に取り組む「SORA監修・公認商品」も設定するなど、商品ラインナップの拡大を進めています。



「Kitacaのエゾモモンガ」のグッズ

SORA監修・公認商品第1弾
「Kitacaのエゾモモンガぬいぐるみ
くおすわりVer.」

北海道産酒類テイスティングバー

近年注目を集めている北海道産ワインや北海道で醸造された日本酒など、酒類を活用した事業。北海道産のアルコール飲料の飲み比べや北海道産品のおつまみなどを気軽に楽しむことができる「HOKKAIDO Tastation」を駅施設で展開しています。

駅のスペースを活用するとともに、観光等で訪れた方々に北海道の食の魅力を広くPRし、地域産業の振興につなげます。



OTARU Tastation
(2025年9～10月実施)



ASAHIKAWA Tastation(2026年1～2月実施)

NFT販売

鉄道イベントと連携したNFTの販売事業。北海道新幹線開業10周年記念NFT等を販売しています。

※NFT:偽造不可の証明書付きデジタルデータ



JR北海道NFTプロジェクト
「DISCOVERY/JR HOKKAIDO」

シェアサイクル

「HELLO CYCLING」と連携したシェアサイクルへの参画。JR駅用地を活用した実証実験を実施しています。



シェアサイクル(五稜郭駅)